

平成 28 年度

「運営に関する計画・自己評価」

最終評価

大阪市立淀川中学校

平成 29 年 3 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成27年度「全国学力・学習状況調査」において、平均正答率は大阪府平均と比べ、国語で約3%下回り、数学ではAが8%、Bが9%大阪府を下回っている。また理科でも7%下回っている。また無回答率も各教科とも大阪府を下回っている。国語では「書くこと」の領域が特に弱く、自分の考え方や意見をまとめ効果的に伝える力をつける必要がある。数学では「図形」「関数」の領域が弱く、基礎・基本的な学習と演習問題等に取り組み、確実な力をつける必要がある。理科では「物理的」「化学的」領域が弱く、実験等を取り入れたり、授業において様々な工夫を凝らし、科学的な思考力をつけさせることが必要である。

また、質問紙調査において、「自分には良いところがある」「将来の夢や目標を持っている」の肯定的回答が大阪市平均より8.5、7.7%低い。自尊心の持てない生徒や将来に対する前向きな意欲を育てる道徳教育や体験を取り入れた学習に取り組む必要がある。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を国語、数学とも大阪市平均と同等の結果とする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に理科の実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上維持し続ける。
(カリキュラム改革関連)
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した（どちらかといえば実感した）」という生徒の評価を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。
(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の維持増進】

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。
(カリキュラム改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を国語、数学とも大阪市平均と同等の結果とする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。
(カリキュラム改革関連)
- 「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ICTを積極的に活用する。特に理科の実験・観察の授業で最新のICTを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。
(カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の向上】

- 「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。校内アンケートにおいて「勤労の尊さを実感した（どちらかといえば実感した）」という生徒の評価を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これらのあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。
(ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の維持増進】

- 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。
(カリキュラム改革関連)
- 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。
(カリキュラム改革関連)
- 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。
(カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

【視点 学力の向上】

- ・理科ではICT機器を取り入れ、プロジェクターを駆使した授業を行ったり、国語科では図書館で調べ学習を行ったり、討論をさせたり、基本的な学力の習得とともに考える授業も推進してきた。また、英語科では生徒同士が質問をし、それに答えるといった英語での会話を取り入れた授業を行った。それぞれの教科の特性を生かした授業を行うなど、工夫を凝らし分かりやすく、興味関心の持てる授業が展開できるように努めた。
- ・学校元気アップ支援員の協力を得て、生徒が自由に使用できる学習プリントを提供し、生徒の自主的な学習習慣の定着に努めた。現在は数学のみだが、来年度は英語科のプリントも計画している。今後は生徒がより使用しやすいように整備したい。

【視点 道徳心・社会性の向上】

- ・8時25分の予鈴による登校指導を継続的に実施している。多くの教員が校門前に立ち、生徒に「おはようございます」と声をかけるように努めている。その結果、あいさつを返す生徒も増えってきた。
- ・人権教育の一環として、フリージャーナリストの西谷文和さんをお招きし、講演をしていただいた。保護者にも参加いただき、今日の世界と平和の大切さについて考える学習を行った。
- ・本年度より職業講話は1年で行うこととし、2年生では職業体験学習を行うこととした。来年度は3年生でより実社会について考える授業を取り入れ、3年間を見通したキャリア教育の確立を目指したい。
- ・本年度より校内組織として「道徳委員会」を設け校内研修を実施し、教材の整備、指導案作りを積極的に行った。9月には全学級で「道徳」の公開授業を行い、道徳教育の充実に努めてきた。
- ・学年だより、保健だより等の発行の他、学校ホームページを適宜更新し、学校の様子を発信し、また情報公開に努めた。

【視点 健康・体力の維持増進】

- ・生徒の健康に対する意識の向上を目的として、保健委員の自主的な活動を促し、インフルエンザの予防や歯と口の健康を考える授業で活躍の場を与えた。
- ・学年ごとに内容を工夫し、性教育を計画的に行い、命の大切さや正しい男女交際、性感染症の危険を学び、自らを守ることについての学習を行った。
- ・生徒の自主的な活動である部活動を教員が積極的に支援し、体力の維持増進に大きく貢献した。
- ・家庭科では食に関する学習や調理実習、また保育学習など、食育・健康・体力の維持増進に関する授業を行った。

大阪市立淀川中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」の平均正答率を国語、数学とも大阪市平均と同等の結果とする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における「家で、学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を全学年で前年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○「分かる授業、興味を持って取り組める授業」にするため、ＩＣＴを積極的に活用する。特に理科の実験・観察の授業で最新のＩＣＴを駆使する。そして本校アンケート調査で、「日々の授業に積極的に取り組んでいますか」の項目について、「積極的である（ほぼ積極的である）」と回答する生徒の評価を70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【各教科(特に国語・数学・理科・英語)の指導法の改善】</p> <p>基礎基本の徹底、理科を中心とした興味・関心を高めるためのＩＣＴを活用した授業の推進。習熟度別授業の充実、小学校の英語指導の改革を受けての英語授業の改善。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標　ＩＣＴについては理科において書画カメラや実験観察用計測・処理システムを駆使した授業を推進する。英語については小中連携を通じて小学校の状況を把握し、音声指導を中心に授業を工夫する。</p>	
<p>取組内容②【自主学習習慣の確立】</p> <p>主体的な学習習慣が身につくような小テスト・レポート・宿題を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標　小テストの実施やレポートのきめ細かな点検と指導。学年だより等による家庭教育の啓発</p>	
<p>取組内容③【授業研究を伴う校内研修の充実】</p> <p>ＯＪＴ授業を効果的に活用した研究授業を充実させ、またこれに加え、土曜授業における参観授業の指導案作成の推進。 (学校サポート改革関連、ガバナンス改革関連)</p>	B
<p>指標　年間12回以上の研究授業の実施、すべての学期で複数の研究授業を行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全国学力・学習状況調査において、国語・数学のA Bとも大阪市の平均正答率を下回った。しかし、その差は国語でAが1.7%、Bが0.6%、数学でAが5.1%、Bが2.3%と昨年度と比較すると着実にその差は小さくなってきた。習熟度別少人数授業の実施など、従来の取り組みの継続が少しづつではあるが、結果として表れてきたのではないか。

また、生徒の自主学習支援のため、学校元気アップ事業の一環としてプリントを作成し、各学年の廊下に設置したロッカーに保管し、自由に使用できるようにした。生徒間で定着しつつあり、特に定期テスト前などにはよく使用されている。

次年度への改善点

本年度、校長経営戦略予算で図書館のプロジェクターの設置やその他ＩＣＴ機器を使用した授業の充実のための機器の整備を行った。来年度は研修等に積極的に参加し、各教科に応じたＩＣＴ機器の効果的な活用方法を研究し、学力向上につなげる授業を展開する。

現在自主プリントは数学のみであるが、来年度は英語についても実施できるように、現在準備中である。是非とも年度当初から実施したい。

大阪市立淀川中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかつた	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかつた

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の向上】</p> <p>○「全国学力・学習状況調査」における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○キャリア教育の充実により、勤労の尊さを実感させるとともに、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○本校アンケート調査で、「5分前の予鈴登校や、あいさつ運動に取り組んでいることは、これからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を90%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○生徒のようすを土曜授業や学校HP、学校行事・地域行事等によって家庭・地域に発信し、外からの意見を教育の改善に活かす。「校長室だより」も毎月学校HPに掲載する。 (ガバナンス改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【道徳教育のさらなる推進】</p> <p>体験的な学習も含め道徳教育を推進するとともに、すべての教育活動を通して規範意識を高める。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の質問紙の「学校のきまりを守っていますか」の回答において、守っている（ほぼ守っている）の割合を90%以上にする。</p>	B
<p>取組内容②【安全教育の推進】</p> <p>予鈴前登校や挨拶運動の推進。毎日、多数の教員による登校指導の実施と安全点検。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査やアンケートでの評価を前年度以上にする。</p>	B
<p>取組内容③【キャリア教育の推進】</p> <p>職業講話等を実施し、勤労の尊さを実感させ、将来にわたって自己の進路を切り開く力を身に付けさせる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。</p>	A
<p>取組内容④【その他、開かれた学校をめざして生徒のようすの地域へ発信する】</p> <p>開かれた学校をめざした土曜授業・学校HP・学校行事、そして地域行事への関わりを深める。吹奏楽部の活動を地域行事等で充実させる。 (ガバナンス改革関連)</p> <p>指標 「校長室だより」を毎月学校HPに掲載し、常に地域からの声を聞く。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

全国学力・学習状況調査で「学校の規則を守っていますか」が（守っている・ほぼ守っている）の合計が 84.2%で目標の 90%に達しなかった。規範意識に課題が感じられる。昨年度より道徳教育の校内研修等を行い、特別の教科「道徳」の実施に向けた取り組みを今年度も強化し、取り組んできた。しかし、まだその途上ということもあり、成果が表れるまでには至っていないと考えられる。

本年度、本校で初めて職業体験学習を実施した。今まででは職業講話は積極的に行ってきたが、学習内容としては限界を感じており、本校の近隣に事業所が少ないというハードルがあったが、さまざまな検討を重ね十分な準備をし、実施することができた。生徒の反応もよく、特に事後アンケートで「自分の取り組む内容について、事前・期間中に家庭で話し合いましたか」で（よく話し合った・話し合った）の割合が 70%を超えていた。家庭での関心も大きかったことが伺える。学年だよりを各学年とも計画的、継続的に作成し、保健だよりも定期的に作成している。また校長室だより、さらにホームページを平均週 2 回程度更新し、行事予定や学校の様子など学校の情報の発信に努めてきた。

次年度への改善点

今年度の結果を踏まえ、道徳授業を中心に据えた「道徳」教育をさらに推進し、規範意識や思いやりの心などの育成につとめる。

今年度実施した職業体験学習を継続して行うとともに、1年生「職業講話」2年生「職業体験学習」3年生「実社会を考える学習」を柱に据えて取り組むこととし、本校のキャリア教育の計画的な実施を推進する。

現在行っている土曜授業や吹奏楽部を核とした地域活動を継続的に実施する。

また、学年だよりをはじめとした情報発信についても継続的に行うとともに内容の充実にも努めたい。

大阪市立淀川中学校 平成28年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の維持増進】</p> <p>○ 「全国学力・学習状況調査」における「朝食を毎日食べていますか」の項目について、「食べていない（あまり食べていない）」と答える生徒の割合を10%以下にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○ 本校アンケート調査で、「生命尊重や男女平等の意識について性教育を学んでいます。こうした学習はこれからあなたの生活に役立つと思いますか」の項目について、「役立つ（少しは役立つ）」と回答する生徒の評価を85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○ 「全国体力・運動能力・運動習慣調査」における合計得点を全学年で向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【食育・健康な生活習慣の確立】 保健だよりや食育通信等により啓発活動を推進し、健康な生活習慣を確立する。 (ガバナンス改革関連)</p>	B
<p>指標 全国学習状況調査の割合を改善する。</p>	
<p>取組内容②【健康に関する今日的課題への対応】 生命尊重、男女平等を基本とした性教育の取り組みや講演会等の実施。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標 全国学習状況調査の関連項目での割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容③【体育活動の充実】 土曜授業においてトップアスリートを招いての講話や体験活動等を行い、運動に親しみ運動に対する意識を高める。体育授業のさらなる充実。 (ガバナンス改革関連、カリキュラム改革関連)</p>	C
<p>指標 生徒アンケート等の結果。「全国体力・運動能力・運動習慣調査」で前年度以上の結果をめざす。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>「全国体力・運動能力・運動習慣調査」の運動能力の結果では、男女とも多くの種目の平均で全国・大阪府平均を上回っていた。体力合計点では全国平均を男子は5ポイント、女子は2ポイント上回った。部活動も活発で、地域の関心も高いことや体育授業においても意欲的に取り組む生徒が多いことなどが結果に反映していると思われる。</p> <p>一方生活習慣では朝食を（食べない・ほとんど食べない）が男子で16.2%、女子で8.3%といずれも全国、大阪市平均を上回っている。朝食と学力や思考力との関連性はよく指摘されるところであり、改善を図りたい。</p>

性教育では発達段階に応じ、1年生では「生命の誕生」2年生で「男女交際とLGBT」3年生で「性感染症」についてと発達段階に応じ、計画的に学習できるようにした。その他1年生で「歯と口の健康教室」「インフルエンザについて考える学習」などを実施してきた。

次年度への改善点

教職員の転出入により、毎年のように部活動の存続が問題となる。本校の部活動は生徒、地域の関心、期待も大きく、成果を上げている。来年度もぜひとも現状を維持させたい。

生徒の朝食を含め、規則正しい生活習慣の大切さを懇談会など、様々な機会をとらえ、保護者に啓発することが必要である。また、保健だよりを通じて発信していきたい。

本年度、トップアスリートを招いての講話等を計画していたが、決定していた団体の手違いで、3学期にずれ込んでしまい、当初の計画どおり実施することができなくなってしまった。来年度はこのようなことがないようにしたい。